



第二次

上津地区まちづくり計画

自分たちで行動するまちづくり

この上津地区まちづくり計画は、平成 18 年 3 月に発行した前回の計画から 10 年が過ぎ、あらためて上津地区の現状や課題、今後の方向性を見直したものです。また、住民の暮らしの質を追求し、上津地区で生活する一人ひとりが幸せを実感できるまちづくりに向けて、住民の意見を結晶化するために計画の策定段階から各地区から 6 名の計 36 名の活性化委員さんを選出していただき、研修会や検討会を繰り返しながら上津地区の将来について考えてきました。

上津地区に暮らす住民自身が「自主自立」への意識改革を図り、地域を見直し、その中でできることを見つけ実行していくための出発点となれば幸いです。

平成 28 年 3 月
上津地区住民自治協議会

<会長あいさつ>

市町村合併後、11年余りが経過しました。市はこれを機に多くの分野においてその仕組みの精査をしています。そこで私たち上津地域においても、現基本計画を根本的に見直し、今後の上津地域の「まちづくり」を構築するべく平成26年度に住民アンケートの実施、27年度には各6地区からそれぞれ6名を選出し、地域活動検討会を設け、志村アドバイザーを講師として地域の現状把握、数々の課題・問題点等を抽出し、今後のあるべき姿をまとめたものであります。この計画書は、あくまでも基本的な方針・方向であり、具体的には更に検討協議を重ねながら施策、事業等を進めなければなりません。

その為28年度では、具体化を図るための組織化及び、各部会の活性化等がありますが、とりわけ女性の意見を重視する必要があります。又、現在の事業、イベント等の精査も必要です。

上津地域住民の一人ひとりが、「やる気・元気・根気」を「一人1活動」の下、事業を展開する事が大切であります。今後とも上津地域住民の皆様方のご指導・ご協力をよろしくお願い致します。

上津地区住民自治協議会 会長 城山廣三

<上津地区まちづくり計画策定までの経緯>

年月日	会議名	内容
平成27年6月7日	地域活動研修会	・ 目指すべきまちづくり計画とは？ ・ 上津地区の特徴と課題抽出作業（地区別グループ作業）
7月5日	地域活動先進地研修	・ せいわの里「まめや」 ・ 多面的機能支払紹介（元丈の里「ゆめ工房」）
8月24日	第1回地域活動検討会	・ 先進地研修報告 ・ テーマ別検討会
9月18日	第2回地域活動検討会	・ 前回の検討テーマに関連する情報共有 ・ テーマ別検討会
10月30日	地域活動中間報告発行	・ 上津地区住民自治協議会だよりでの中間報告
11月20日	第3回地域活動検討会	・ 事例勉強会：うちの実家（新潟県）、鉄道駅の活性化について ・ テーマ別検討会
12月18日	第4回地域活動検討会	・ 課題テーマの優先度確認作業 ・ 優先度が高い課題テーマについて、具体案の検討
平成28年1月15日	第5回地域活動検討会	・ 優先度が高い課題テーマについて、具体案の検討 ・ 具体案投票会
2月19日	第6回地域活動検討会	・ まちづくり計画の全体協議 ・ 今後のまちづくり推進に向けた方策協議

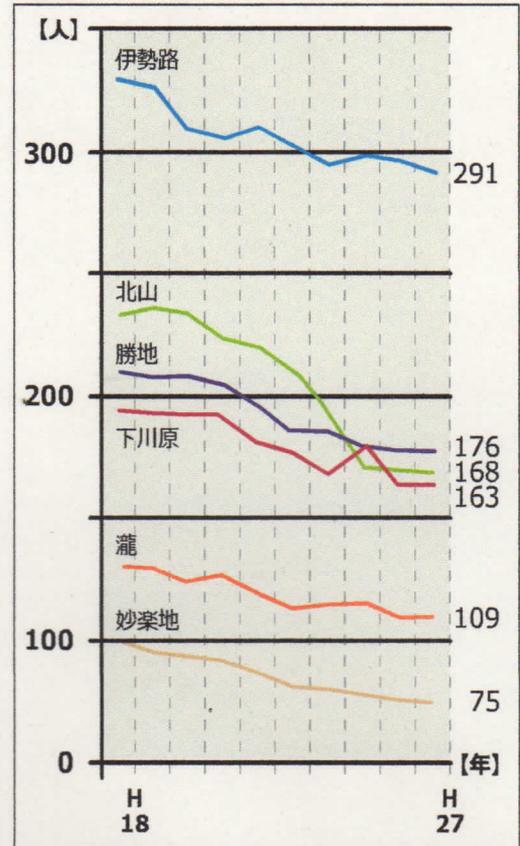


<上津地区の概況>

小盆地化した地に6地区約270世帯、人口1,000人が暮らす農地110haの農山村地域です。地域の東西を近鉄大阪線と国道165号線が貫き、大阪・名古屋方面へは各約1時間半の位置にあります。発電量国内最大規模の風車が並ぶ国定公園青山高原の山麓に位置する地域で、木津川や支流の青山川、南限と言われる県天然記念物ブナの原生林、初瀬街道伊勢地宿などを見ることができます。そうした中で高齢化率は40%を超え、中には50%を超える地区もあることから、農業をはじめとする後継者問題や空家問題が深刻さを増しています。



地区別高齢化率 (H27)



上津地区の人口推移 (各地区別 H18 ~ H27)

<上津地区の主なイベント、神事>

1月	1日：初歩き大会	どんど焼
	7日：山の神	出初式
2月	28日：初不動	老人会新年会
	初祈祷	
2月	川原焼き	大般若
	川原の草刈	厄除け祭
3月	子ども会6年生送る会	比々岐神社祈年祭
4月	15日：秋葉神社祭	富士講
	24日：奥山愛宕神社春季大祭	津島講
	24日：滝仙寺春祭り	茶丸神社春祭り
5月	青山高原つつじマラソン	上津地区戦没者慰霊祭
6月	宝珠院水子法要	球技大会
	河川敷の草刈	子ども会リサイクル資源回収
7月	祇園祭	消防団訓練
	納涼祭り	

8月	18日：馬頭観音 20日：喜福寺会式 21日：滝仙寺会式	施餓鬼法要 茶丸神社夏祭り 子ども会親子活動
9月	敬老会 十五夜祭	上津地区区民運動会
10月	15日：熊野神社大祭 23日：秋葉神社祭 24日：奥山愛宕神社秋季大祭	クリーン事業 宝珠院火まつり
11月	比々岐神社例大祭 収穫祭 青山地域クリーンデー 茶丸神社秋祭り	芋煮会（世代間交流会） 防災訓練 川原の草刈 例大祭（子ども神輿、獅子神楽）
12月	28日-30日：消防年末警戒	防災訓練

<まちづくりの課題>

住民アンケート（H26 未実施 / 229 名回答）と上津地区活性化委員から頂いた意見をもとに課題を抽出し、今後のまちづくりに向けた基本方針を検討しました。



<まちづくりの基本方針>

上津地区活性会員のみなさんと優先順位の高い地域課題を抽出し、項目ごとに解決への足がかりとなる施策を検討しました。それぞれの施策ごとに具体的な取り組み方針を定めていますが、予算規模や内容を鑑みながら「住民主体」「住民と行政との協働」「行政主体」の3つから実施主体を選択し、かつ緊急度を判断しましたので、これらを今後のまちづくりの指針としながら、これまでの事業を継続しつつ、着手しやすい取り組みから順に実行していきたいと考えています。

分権 自治

施策1：消防団員の確保 2～3年



これからも安心・安全な地域で暮らすことができるよう、消防団を適切に維持していきます。

- ・入団者に対する優遇措置の検証（区費の減免など）
- ・女性の入団を推進
- ・行政や自治会による委嘱状発行について検証

施策2：無理なく継続的に事業を企画、実行できる仕組みづくり 2～3年



地域活動の推進力となる体制や仕組みを整備し、継続的に取り組んでいきます。

- ・地区内関係者だけでなく、他町村に住んでいる人も参画できる仕組みづくりの推進
- ・自治会のみならず各種サークルや事業者が混在するサポート組織の整備
- ・既存の地区別事業再編

施策3：女性が積極的に発言、活動できる環境づくり 2～3年



まちづくりには、たくさんの女性の関わりが不可欠です。これまでの慣例を見直し、女性が生き生きと活動できる環境づくりを推進していきます。

- ・女性が集える場づくりの整備（旬の作物による料理教室や昔料理の再現会、手芸教室等）
- ・年代別女性サークルの整備

施策4：出合いや地域活動への参加負担軽減 1年以内



新たな地域活動の醸成や定住人口の増加を図るため、住民の負担となっている地域の維持・保全活動を見直していきます。

- ・区内作業者に対する日当支払い制度を推進
- ・回数削減に向けた活動内容の見直し
- ・高齢独居老人の作業免除

健康 福祉

施策 1：高齢者世帯、独居老人を支える地域づくり

1年以内



協働

これからもお年寄りが安心して上津地区に暮らすことができる環境整備を推進していきます。

- ・地域内での支え合いのネットワークづくり
- ・世代間交流の促進

生活 環境

施策 1：暮らしやすい地域づくり

2～3年



行政主体

上津地区の安心・安全な生活環境がこれからも維持していけるよう、行政への働きかけを推進していきます。

- ・土砂災害防止対策（排水や植生管理）の推進
- ・地域医療の拡充
- ・公共交通機関の不足解消

施策 2：子育てしやすい地域づくり

2～3年



協働

子育て世代の家族にとって暮らしやすい地域づくりを推進し、地域に賑わいを取り戻します。

- ・子どもの遊び場づくり

施策 3：自然環境の向上

ゆっくり



協働

上津地区の素晴らしい自然環境を次世代に継承すべく、地域に応じた適切な保全・管理を推進していきます。

- ・里山、竹林や集落内の高木対策推進
- ・集落内の環境用水・防火水の充実
- ・生態系の復活や里山の季節感を強調

施策 4：空家解消に向けた取組の推進

2～3年



協働

上津地区の景観や安全、賑わいを損なう空家を解消するために、所有者の理解の下で適切な措置や利活用を図っていきます。

- ・空家調査の推進（所有者の意向調査含む）
- ・空家の利活用を促進する体制の整備

教育 文化

施策 1：地区の歴史・文化継承に向けた取組の推進

1年以内



協働

地区の成り立ちや物語、季節の歳時、風習などを風化させることなく次世代に継承し、上津地区の誇りと郷土愛を育みます。

- ・地区の歴史文化に詳しい方とのネットワークづくり
- ・神楽保存会の強化
- ・歴史や文化にまつわるイベントの開催
- ・本や紙芝居などの教材制作促進
- ・人権学習に取り組む

産業 交流

施策 1：農林業の持続的な発展に向けた取組の推進

2～3年



上津地区の離農に歯止めをかけるべく集落営農組織を整備するとともに、地域の特色を活かした農産物生産や木材の活用促進などにより経営力を高めていきます。

- ・集落営農組織の整備
- ・農業に取り組む人材の確保と育成
- ・獣害対策の推進
- ・木づかいの推進

施策 2：魅力ある「こうづの郷ふれあい市場」づくりの推進

2～3年

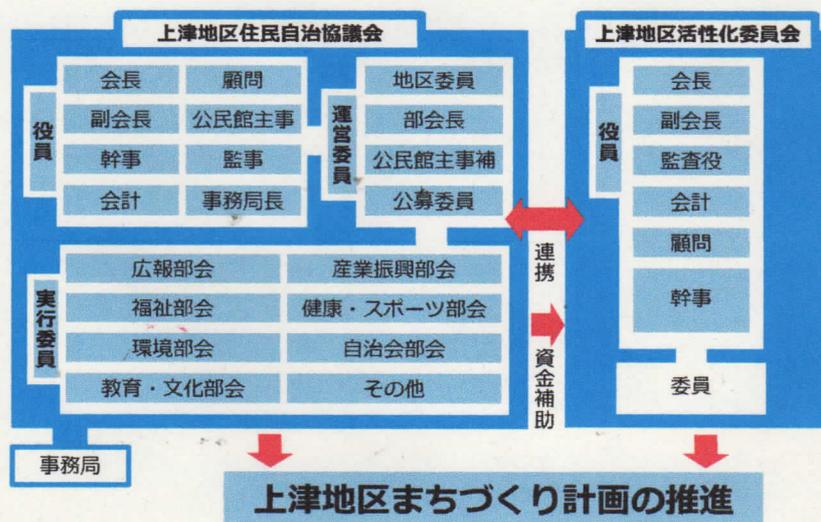


『ふれあい市場』の持続的な発展を図るため、付加価値の高い農産物販売と加工業の育成を推進していきます。

- ・農産物加工業の育成
- ・飲食施設の整備
- ・特色ある農産品開発
- ・上津ブランドの推進

<実施体制>

各施策の推進に必要な活動を行うことを目的に、各地区4名（区長、及び1名以上の女性含む）計24名による「上津地区活性化委員会」を創設します。この上津地区活性化委員会は独自の会計を持つ自主運営組織とし、柔軟かつ迅速な組織運営を図りながら、将来的には当協議会の部会活動への移行を目指していきます。



<今後に向けて>

この計画は、当協議会が取組む地域課題や活動内容及び行政との協働方針等を定めたものであり、概ね5年間を目途とした当地区のまちづくりの基本方針となるものです。当協議会は今後、地域のみならずご参加とご提案を得ながら様々な事業を実施し、住民主体のまちづくりを推進してまいります。そのためには世代や地区を越えて話し合える場が重要だと考えています。

今回の計画策定で得た経験を糧に、より地域に開かれたまちづくり運営ができる仕組みの整備と、それを支える地域の機運を更に高めていきます。

第二次

上津地区まちづくり計画

自分たちで行動するまちづくり

平成 28 年 3 月 31 日発行

発行 上津地区住民自治協議会

住所 三重県伊賀市北山 1345 番地の 1

電話 0595-52-0710

上津地区活性化委員会メンバー（敬称略、順不同）

<瀧> 浦山正夫、中村厚、辻井徳一、山口謙一、杉井俊夫、長谷本美代子
<妙楽地> 山岡章彦、中安隆、松本博臣、山本幸一郎、山岡晃二、田中好子
<勝地> 坂本安司、猪木保弘、勝木治、永井口英哲、向山雅司、竹内美恵
<北山> 桜井孝、福増茂、吉住常彦、城山和彦、稲本剛士、森永道子
<下川原> 西山和頼、谷安生、藤室知布、西尾博樹、飛田博和、西山尚子
<伊勢路> 藤田公一、杉本誉文、伊山昌作、欠田晃教、川口佳寿、林康子
<ウィッツ青山学園> 古賀朝博、川口まゆり

この計画は、平成 27 年度伊賀市地域活動支援事業補助金を活用して策定されました。